



# OMR出力データ用採点処理ソフトウェア

wncomr v1.00

## 取り扱い説明書 (pdf version)

1.00.00-02  
(rev20160724)



この説明書はwncomr.chm(v1.00.00-02)を原本に作成しています。

## 目次

はじめに	2
■はじめに	2
■重要事項	2
動作環境	3
■動作環境	3
■対応するOMR用ソフトウェアについて	3
インストール・アンインストール	4
■インストール方法（インストーラ無）	4
■インストール方法（インストーラ付）	4
■アンインストール方法（インストーラ無）	5
■アンインストール方法（インストーラ付）	5
メイン画面の各ボタン説明	6
■選択中の解答番号	6
■解答の操作	7
■入力選択	8
■入力ファイルの情報	8
■出力指定	9
■採点スタート	9
■画面上採点	10
■各ボタンの説明	10
■解答出力sw	11
■参考までに	11
■その他のボタン	11
各操作の解説	12
■各問の解答設定	12
■画面の説明	12
■各問の点数設定	14
■画面の説明	14
■連鎖の設定	16
■連鎖の解説	17
■AND処理の応用	17
■内部設定（固有設定）	18
■内部設定（構造設定）	19
■各グループの解説	19
TPLエディタ	20
■画面の説明	20
製品の仕様	21
■仕様	21
約束	22
■約束	22
おわりに	23
■おわりに	23
版情報	24
■版情報	24
開発元・著作	25
■開発元	25

## はじめに

### ■はじめに

wnc developのソフトウェアをご利用いただきましてありがとうございます。このソフトウェアはOMR処理ソフトウェア\*1から出力したデータを読み込み採点するというものです。

wncmrは以下のファイルで構成されています。

<b>wncmr. EXE</b>	プログラム本体です
<b>wncmr. CFG</b>	実行すると作成する設定ファイルです
<b>wncmr. CHM</b>	HTMLHelp形式のヘルプファイルです
<b>wncmr. TPL</b>	初期化時に読むTPLです (TPLエディタ*2で作成します)
<b>wtpledit. EXE</b>	TPLエディタです

wncmr.CFGは、存在しなければ実行後新規に作成します。  
(上記のファイルはwncmr.EXEが存在する場所に作成します)

wncmr.TPLはTPLエディタで作成したテンプレートファイルをwncmr.TPLという名前で、起動するwncmr.EXEが存在するフォルダに保存すると内部設定項目で「初期状態に戻す」ボタンを押したときに自動で読み込みます。wncmr.TPLが存在しない場合、wncmr.EXE内部の初期値にします。

### □HTML Help 版のv1.00.00ヘルプ提供について('11/6)

今までは、WinHelpシステム用のヘルプを製作して提供していましたがヘルプを製作していたソフトウェアがXP上で作動しなくなったことと、HTML Helpでのヘルプ作成に切り替える時期になったので提供することにしました。HTML Helpを作成できるツールは多くなってきましたが商用のオーサリングツールはパソコンが買えるほど高価であったり、シェアウェアのツールは動作がいまいちでした。フリーソフトでもありますがエディタにタグを入力するタイプだったりパッケージのみを行うものだったりと少々面倒なものが大半でした。たまたま海外のフリーソフトでHelpMaker (v7) というのがあったので使ってみたところ日本語が完全とはいえないものの従来のヘルプからコンバートする機能やUnicode対応のおかげで日本語のヘルプが簡単に作成できることが分かったため、このソフトを使用してHTML Help版の製作をしました。

また、説明に使用している画像は一部2000Proでの画面を使用していますのでWindows 7や10では表示が少し違う場合があります。

### ■重要事項

**【使い方を誤るとデータを失ったりファイルが壊れます】** このソフトウェアを使用した結果、PCやハードディスク類に保存されているdataなどに悪影響を与え**損害を出しても作成者およびこのソフトウェアの配布者(掲載者)は一切責任はとりません**、ということをご理解ください。通常の使用ならばこのような事態は起こりませんが、できるだけ重要データなどはバックアップをとるか、業務に全く影響を与えないコンピュータでの使用をおすすめします。

**【一般的な使用に限定】** 一般的な採点を行うためのソフトウェアですので**入学試験等の重要な試験の採点に使用しないでください**。もしそのような重要な試験の採点を行う場合は、必ず採点テストを実行し出力結果を厳密に検査してください。

**【独自開発のソフトウェア】** wncmr及び説明書は、**独自に製作したものでありOpScanおよびScanToolsを開発したSCANTRON社または販売している会社とは一切関係ありません**。データのテストを行ったScanToolsは今後のバージョンで出力する形式が変更される場合があります。このソフトウェア(wncmr)についての問い合わせは各社に行わないでください。

**【無保証】** 商用のソフトウェアではありませんので採点が必ずしも正しいとはかぎりません。自分で使用するために開発したので誤動作するかもしれませんし、入力するデータや解答によっておかしい動きや結果を出力することもあります。自己責任において使用してください。また、開発を終了しているため致命的なバグがない限り修正版をだすこと予定していません(新しいOSへの対応も業務に支障がでないかぎり修正しません)。

\*1 OpScan シリーズ対応のScanTools Plus(v7.2)の出力で確認済

\*2 学年・科・組などの位置を書き込んでいる定義ファイルを作成または更新する場合に使用します。標準添付のwtpledit.EXEがTPLエディタです。

## 動作環境

---

### ■動作環境

Microsoft Windows Vista または Windows 7 , 10 (32bit/64bit)が必要で、  
上記のOSが動作保証されているPCです。

※Windows 95・98・Meでは作動しません。

※64bit OSではWOW64により動作します。

※Windows NT4.0・2000Pro・XP上で作動しますが未確認です(すでにこれらのOSはセキュリティ問題が修正されないので使用しないことをお勧めします)

以下の機種で作動確認を行いました

#### wnc build(動作検証と開発用)

PC6x86-2011(MSI Wind Board 330[Atom330 1.6GHz,2048M,Win2000Pro SP4])

#### TOSHIBA

NB100/HF(Atom N270 1.6GHz,2048M,Vista Home Basic SP2)

#### EPSON

Endeavor AT-971(Pentium Dual-Core 3GHz,4096M,Windows 7Pro(32bit) SP1)

Endeavor AT-971(Pentium Dual-Core 3GHz,4096M,Windows 10Pro(32bit) )

※v0.00.02hまではPC-9821Xv13/W16で開発しています。

※v0.00.03まではDynaBook SS3010で開発しています。

※v0.00.05まではPC6x86-2006(C7)で開発しています。

### □2016年7月版について

wncmr本体は変更を行っていないためHTML helpのみ修正しています

### ■対応するOMR用ソフトウェアについて

米SCANTRON製OpScan6(OMR)でScanTools plusの出力データで動作確認

製品名および会社名は各社の登録商標または商標です。

## インストール・アンインストール

---

wncomrをインストール（本体に組み込む）方法は2種類あります。ひとつめは関連ファイルをまとめて圧縮しているファイルを提供している場合（インストーラ無）と、インストール作成ツールによるパッケージ版での提供（インストーラ付）です。パッケージ版でのインストールではすでに作業を終えていると思いますのでここではインストーラ無版を対象にしています。

### ■インストール方法（インストーラ無）

ハードディスクかUSBメモリに

**wncomr.EXE**  
**wncomr.CHM**

を同じフォルダに保存すれば完了です。実行するにはエクスプローラから wncomr.EXE をダブルクリックすると起動できます。必要であれば、ショートカットを作成したりスタートメニューに登録してください。

wncomr.EXEに必要なDLLなどはWindows標準インストール状態で供給されているものだけを使用しているので特別なDLLやコントロールモジュールおよびランタイムは必要ありません。（コンパイラの基本コンポーネントのみで製作しています）

必要であれば

**wtpledit.EXE**

を、wncomr.EXEと同じフォルダにコピーしてください。  
（wtpledit.EXEはTPLファイル<sup>\*1</sup>を作成する場合に必要です）

### ■インストール方法（インストーラ付）

注）現在のバージョンではインストーラ付きの提供を行っていません。

設定を変更せずにインストールした場合はスタートメニューのプログラムにwncomrというグループを作成します。そこに作成している wncomr をクリックすれば起動できます。

※wncomrではレジストリを操作する部分は一切ありません。

---

<sup>\*1</sup> TPLファイルは学年・科・組などの位置情報を記憶するためのファイルです。添付しているTPLエディタ (wtpledit.EXE) により作成できます。

## インストール・アンインストール

---

アンインストール(本体から削除)作業はインストールした状況により異なりますので、該当する項目をお読みになり適切な作業で行ってください。**インストーラ(SETUP.EXE)からインストールした場合は後半のアンインストール方法(インストーラ付)を参照してください。**

### ■アンインストール方法(インストーラ無)

レジストリなどを操作していないのでアンインストールは下記のファイルを削除するだけで完了です。  
(スタートメニューやショートカットを作成した場合はそれも削除してください)

**wncmr. EXE**  
**wncmr. CFG**  
**wncmr. CHM**

※wncmr.CFGは実行後作成されますが、これも削除してください

※wtpleditでTPLファイル<sup>\*1</sup>(拡張子がTPL)を作成している場合や、wncmrから出力した解答集<sup>\*2</sup>ファイル(拡張子がANS)が存在する場合は必要であれば削除してください。wtpledit.EXEが存在する場合はそれも削除してください。

wncmr.EXEは必要な機能を内部ですべてもっていますので勝手にDLLを作成したりSYSTEMフォルダに移したりしません。また、レジストリやその他の設定ファイルは一切触れていません。  
wncmr.EXEが操作するファイルは

**wncmr. CFG**

のみ、内容を変更したり追加を行っています。

※拡張子がTPLやANSといったファイルは使用者側から必要なときに出力するもので、自動で出力操作することはありません

### ■アンインストール方法(インストーラ付)

注)現在のバージョンはインストーラ付きを提供していません

SETUP.EXEからインストールした場合はコントロールパネルにある アプリケーションの追加と削除<sup>\*3</sup>を開き、wncmrを選択して 追加と削除 ボタンを押すとアンインストーラが起動します。削除して良い場合は「はい」を選択してください。アンインストーラを使用しても以下のファイルが残りますので必要ない方はフォルダごと削除してください。

wncmr.CFG

※wncmrやwtpleditから作成した ANSやTPLファイルは必要に応じて削除してください。

---

\*1 TPLファイルは学年・科・組などの位置情報を記憶するためのファイルです。添付しているTPLエディタ(wtpledit.EXE)により作成できます。

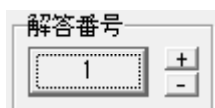
\*2 解答番号1～9までをひとつの解答集としています。解答集は拡張子が ANS です。

\*3Windows XPではプログラムの追加と削除、Windows7ではプログラムのアンインストール

## メイン画面の各ボタン説明

---

### ■選択中の解答番号



登録する解答番号を選択できます。wncomrでは9つの解答データを保管することが可能です。**+**で次の解答番号に、**-**で前の解答番号にそれぞれします。

このボタンの右には解答番号につけられたコメントを表示します。この「選択している解答番号のコメント」は解答の操作 で入力することが可能です。

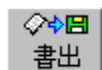
解答番号は1～9まであり、それぞれ別々に解答を作成できます。



解答番号1～9までを解答集\*<sup>1</sup>として保存できます。



解答集を読み込みます。



解答集に名前を付けて保存します。



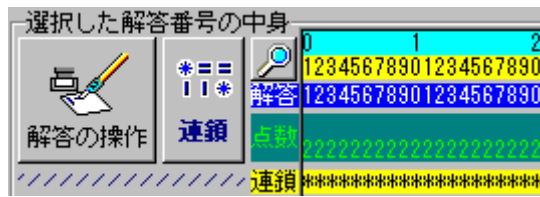
現在読み込んでいる解答集を初期化します。  
(wncomr.CFG内に取り込んでいる解答集を指します)

---

\*1 解答番号1～9までをひとつの解答集としています。解答集は拡張子が ANS です。

## メイン画面の各ボタン説明

### ■解答の操作



解答を設定することができます。コメントや各問に対する答えと配点を決めます。

各問の解答設定 および 各問の点数設定 を参照してください。



各問に対する連鎖を設定します。これによりAND条件およびOR条件を指定できます。連鎖の設定を参照してください。



指定している解答と点数を拡大表示します。



## メイン画面の各ボタン説明

### ■入力選択



OMRから読み込んだデータを選択します。画面上で確認する場合はこのボタンを押してファイルを選択するだけで画面上採点が行えます。

### ■入力ファイルの情報

入力するファイルはScanTools(v2.2)から出力されたデータファイルで以下のようになっています。

例5人分のデータがファイルに入っているとき

(NCSヘッダ40バイト) + (データ) + (CRLF)	1人目
(NCSヘッダ40バイト) + (データ) + (CRLF)	2人目
(NCSヘッダ40バイト) + (データ) + (CRLF)	3人目
(NCSヘッダ40バイト) + (データ) + (CRLF)	4人目
(NCSヘッダ40バイト) + (データ) + (CRLF)	5人目

NCSヘッダについてはScanTools付属の説明書をご覧ください。

この処理ソフトウェアでは基本的に以下のように分析しています(SDG標準の場合)。

行ははじめから

位置	名称(バイト数)
+0 ~ +39	NCSヘッダ(40)
+40 ~ +41	コード(2)→SDGでは現在未使用
+42	学年(1) → 1, 2, 3など
+43	科(1) → L, M, E, Sなど
+44	組(1) → 0から9
+45 ~ +46	番号(2)→01から99
+47 ~ +70	氏名(24)
+71	性別(1)
+72	問1 解答(1)
+73	問2 解答(1)
(中略)	(略)
+132	問60解答(1)
+133	CR(制御コード)
+134	LF(制御コード)

上記の設定はすべてSDGの設定です。

※上記のフォーマットにあわせれば無条件で処理可能です

※採点に必要なのは+72から+132まででそれ以降は切り捨てます

※問題が増えた場合は上記の範囲は大きくなります

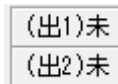
注意:一行が2000バイトを越えると異常終了します

## メイン画面の各ボタン説明

### ■出力指定



採点後に出力するファイルの名称を決めます。



(出1)ここで決めたファイルに採点結果の詳細を記録します。

拡張子は .CSV で一般の表計算やデータベースで使用しているものです。このwncomrは採点結果を CSV フォーマットで出力します。

ファイルの一番先頭行にコメントと問番号、次の行に列名、その次から実際の採点結果が一人2行ずつ出力します。その2行は、はじめの行が生徒の解答、次の行は正解の場合配点に関連した点数が入ります。各行は先頭から「学年・科・組・番号・氏名・性別・識別・問1・問2・問3 ～ ～ 問59・問60・合計点」となります。

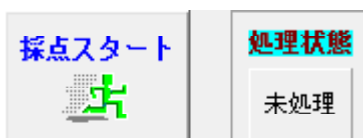
識別は “a” と “t” という半角文字があり、“a”は解答で“t”は点数を格納している行という意味です。全体をソートするときここもキーとして選択すればうまく並び替えできると思います。

(出2)出1の名称に\_点名限を追加します。また(出2)で指定したファイルに最小限の情報を記録します。

拡張子は .CSV で、CSVフォーマットです。(出1)ファイルと違うところは一人に対して1行出力で、「学年・科・組・番号・氏名・性別・点数」の項目のみ出力します。各生徒用に配布するデータの原本と使用すると便利です。

※出力結果は実際に処理を行ったものをご確認ください。

### ■採点スタート



採点を始めます。あらかじめ上記項目のファイル選択をすべて行わないと実行できません。入力選択・出力指定を行ったら上記のボタンを押すと開始します。処理状態が「採点完了」で採点がすべて終わります。別の採点を開始する場合は「選択file解除」ボタンを押した後、解答番号・入力選択・出力指定を変更してから採点を続けてください。

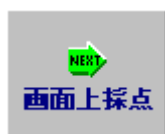
※同じ出力ファイルにしても上書きしますので前の保存データが無効になります

Shiftキーを押しながら採点スタートをクリックすると特殊採点が起動します。

特殊採点は各問に対して無条件で点数を与えることができます。ただし、補助的な機能ですので使用しないことをお勧めします。特殊採点は連鎖を無視しますので連鎖指定をしている問の一部に無条件で点を与えます（特殊採点の仕様）。

## メイン画面の各ボタン説明

### ■画面上採点



画面上で採点の確認ができます。入力ファイルのみで実行できます。

**@画面上採点表示状态**

[illegible]

## ■各ボタンの説明



次のレコードに移ります。PageDownキーでも同等



前のレコードに戻ります。PageUPキーでも同等



最終レコードまで進めます。  ボタンで中止できます。

→ Shift+PageDownでも同等。BSキーで中止できます。



先頭レコードまで戻します。  ボタンで中止できます。

→ Shift+PageUPでも同等。BSキーで中止できます。



最終レコードに移動します。

→Endキーでも同等。ESCキーで中止できます(同等ボタンはありません)。



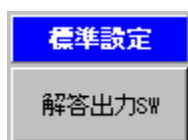
先頭レコードに移動します。Homeキーでも同等

※画面上で採点できますが、結果をファイルに出力しませんので注意してください。

## メイン画面の各ボタン説明

---

### ■解答出力sw



解答および点数をファイルに出力するかしないかのスイッチです。上記の状態は出力します。

出力しない場合

ボタンを押すと **解答出力無** となり解答および点数をファイルに出力しません。

### ■参考までに

解答出力無の状態、予備1～予備8までを使用すれば単純なコンバータとして利用できます。  
※(出1)は重複データになるので、(出2)を使用することをおすすめします)

### ■その他のボタン



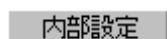
現在選択しているファイルを解除します。続けて他の採点を行う場合、押してください。



説明書を表示します。



wncomrを終了します。



内部設定を変更します。各出力ファイルにあわせられるようにカスタマイズすることが可能です。各操作の解説 内部設定を参照してください。

**※使用する場合は十分な注意が必要です**



著作権表示をします。

## 各操作の解説

## ■各問の解答設定

メイン画面で解答の操作ボタンを押すと以下の画面を表示します。


## @正解設定画面

## ■画面の説明





## 各操作の解説


---

別シートから取得

1  取得

別のシートから解答をコピーします（問 1 ～問 1 0 0 までの解答のみコピーします）。

問 1  ~ 100  まで  

解答が連続して同じ場合に使用すると簡単に入力できます。また、空白の状態で「を入力する」ボタンをクリックすると解答を削除します。 で問の範囲が変更可能です。

## 各操作の解説

## ■各問の点数設定

解答設定で「点数設定に進む >> 」を押すと以下の画面を表示します。

## @配点設定画面

## ■画面の説明

点数設定した各問の点数を合計したものを表示します。

各問に対する点数を入力してください。指定できる値は半角の0から9までで、それ以外の文字を入力すると0点になります（問1につき99まで設定できます）。  
※採点しない問は半角で 0（ゼロ）を入力してください。

## 解答定義を有効にして閉じる

すべて設定が終わったら押してください。解答と点数を内部データに変換後保管します。

## キャンセル

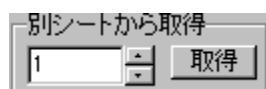
押すと、設定した解答と点数は無効になり変更前の状態に戻して閉じます。

## 前に戻る

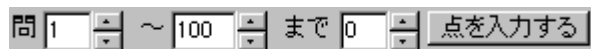
解答定義に戻る場合に押してください。

## 各操作の解説

---



別のシートから点数をコピーします（問 1 ～問 1 0 0 までの点数のみコピーします）。



点数が連続して同じ場合に使用すると簡単に入力できます。で問の範囲が変更可能です。



## 各操作の解説

## ■連鎖の設定

**@設定画面**

[illegible]

問番号  
2

現在操作している問の番号を表示します。

連鎖状態

☒ 単(\*)

☐ AND(=)

☐ OR(|)

**OR()** 前の問に対してどのような扱いにするかを選びます。前の問がANDの時はORは選べません。反対にORの時はANDは選べません。また、問1は仕様により変更できません。

すべて単にする

すべて単に初期化します。

別のシートから連鎖をコピーします（問1～問100までの連鎖のみコピーします）。

連鎖確認

設定した連鎖の検査を行います。検査結果が単・AND・OR・エラー別に表示します。

## 各操作の解説

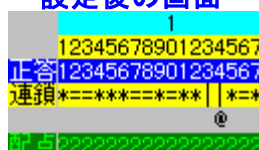
## ■連鎖の解説

例：

(問1 ) and (問2 ) and (問3 )  
 (問4 ) 単体  
 (問5 ) 単体  
 (問6 ) and (問7 ) and (問8 )  
 (問9 ) and (問10)  
 (問11) 単体  
 (問12) or (問13) or (問14)  
 (問15) and (問16)

とするとき

## 設定後の画面



この状態の時に解答が以下のようにはいると

## AND 処理の例（全部一致したとき）

解答	与える点数
問1 = 1 → 2	
問2 = 2 → 2	
問3 = 3 → 2	



## 点数を与えない例

解答	与える点数
問1 = 1 → 0	
問2 = 2 → 0	
問3 = 4 → 0	

## OR 処理の例（一部のみ一致）

解答	与える点数
問12 = 3 → 2	
問13 = 4 → 2	
問14 = 2 → 2	

この場合は3つの位置が入れ替わっても全問正解となります。

## 同じ解答が複数入っている時は

解答	与える点数
問12 = 3 → 2	
問13 = 3 → 0	
問14 = 2 → 2	

というふうに正答に含まれる数だけ正解とします。正答に同じ解答が複数ある場合はその数だけ正解扱いにします。

※単(単体扱い)と連鎖開始は同じ記号なので間違えないように注意してください。  
 (処理の都合上同一記号にしています)

## ■AND処理の応用

3問とも正解の時に点数を2点与えたいときは問の配点を連鎖する解答一つだけに2点を入れておけば対応できます。

例えば

(問1)and(問2)and(問3)

で2点の時

配点を

問1 = 0  
 問2 = 0  
 問3 = 2

そうすれば3問正解時だけ問3のみ2点が入ります。

この例の利用するところは3桁の数字として扱う場合や流れ図の順番などです。

## ■内部設定(固有設定)

名称	開始	規模	名称	開始	規模	使用	名称	開始	規模	使用
学年	42	1	予備1	40	2	<input type="checkbox"/>	予備7	40	2	<input type="checkbox"/>
科	43	1	予備2	40	2	<input type="checkbox"/>	予備8	40	2	<input type="checkbox"/>
組	44	1	予備3	40	2	<input type="checkbox"/>				
番号	45	2	予備4	40	2	<input type="checkbox"/>				
氏名	47	24	予備5	40	2	<input type="checkbox"/>				
性別	71	1	予備6	40	2	<input type="checkbox"/>				

予備を使用するときは使用列のチェックを入れてください

**警告：重要部分につき初期設定以外では変更しないでください**

上記で設定する    キャンセル    初期状態に戻す

名称に該当する位置や大きさを変更することができます。開始は入力ファイルの行開始から何番目という意味です。0番目からはじまりますのでNCSヘッダの大きさが40バイトの時は+40からデータがあるということになります。

※NCSヘッダも含めて何番目かということです

規模は、何バイト分あるかということです。例えば氏名は24になっていますがこれは大きさが24バイト分あるという意味になります。

予備を使用する場合は該当する予備のチェックボックスのチェックを入れてください。

※「初期状態に戻す」を押すとwncomr.TPLを読み込みます。また、wncomr.TPLが存在しない場合はSDG初期設定になります。

※TPLエディタで wncomr.TPL を作成し wncomr.EXE が存在するフォルダに入れて使用することをおすすめします。

## ■内部設定(構造設定)

## ■各グループの解説

### 「NCSヘッダーの設定」

通常変更する必要はありません。

### 「固有設定開始位置」

通常変更する必要はありません。拡張用。

### 「解答開始位置」

問1がはじまる位置を入れます

※NCSヘッダも含めて行先頭からの位置です

### 「問題数」

問題数を変更できます。範囲は1から60までです。

※問題数は1問1バイトです

### 「TPLファイル情報」

組み込んであるTPLファイルの情報を表示します。TPLファイルは各学校や企業ごとに違うフォーマットに対応するための定義ファイルです。付属のwtpledit.exeで作成することが可能です。これにより、学年・科・組などの位置が違っていても一度TPLファイルを作成すればそれを読み込むだけで個別に対応することができます。



このボタンを押すことにより、TPLエディタ<sup>\*1</sup>(wtpledit.exe)で作成したTPLファイルを読み込むことができます。

**※TPLエディタで wncomr.TPL を作成し wncomr.EXE が存在するフォルダに入れて使用することをおすすめします。**

<sup>\*1</sup> TPLファイル(学年・科・組などの位置を書き込んであるファイル)を作成または更新する場合に使用します。標準添付のwtpledit.EXEがTPLエディタです。

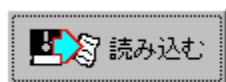
## TPLエディタ

## ■画面の説明

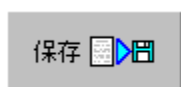
TPLエディタ<sup>\*1</sup>(wtpledit.EXE)を起動すると上記の画面を出力します。用途に合わせて設定を変更し保存してください。以下にボタンの説明をします。



OMR処理ソフトウェアから出力したデータを指定すると、画面に1行分表示します。



現存のTPLファイル<sup>\*2</sup>を読み込みます。



設定した状態をTPLファイルとして保存します。



TPLエディタを終了します。



変更した設定を初期状態に戻します。

\*1 TPLファイル(学年・科・組などの位置を書き込んでいるファイル)を作成または更新する場合に使用します。標準添付のwtpledit.EXEがTPLエディタです。

\*2 TPLファイルは学年・科・組などの位置情報を記憶するためのファイルです。添付しているTPLエディタ(wtpledit.EXE)により作成できます。

## 製品の仕様

---

### ■仕様

#### ソフトウェア名

wnc omr採点処理ソフトウェア 32bit アプリケーション

#### 対応OS (Turbo C++2006 Explorerビルド版)

Microsoft Windows Vista , 7 , 10 (32bit/64bit)

#### 処理問題数・点数・処理

最大100問(各問最大99点まで配点可能)  
連続する問に対して連鎖指定可能(AND,OR)  
各問無条件配点可能

#### 出力形式

csv形式(カンマ区切りのみ使用)

#### 対応形式

米SCANTRON製ScanToolsの出力フォーマット  
※OpScan6経由でScanTools Plusの出力したデータで確認

#### 処理能力

毎秒約1100レコード(1レコード=1人分)(問60まで,各問単)  
分約66000レコード(推定)  
※測定PC仕様 VIA C3(800MHz), Win2000Pro(SP4), 40G(7200rpm, ATA100) MEM: 128M[EPIA-C800]

#### 入力限界

入力サイズ制限2GB(OSに依存,理論値)(超えた場合の動作は不明)  
入力レコード最大処理数:約21億レコード(理論値)(50万レコードまで動作確認済)  
1レコードサイズ:2000バイト未満まで(超えた場合エラー停止)  
※実際の処理は先頭から255バイトまで使用

#### 出力限界

出力サイズ制限 2GB(入力限界と同)(OSに依存)  
最大出力レコード数:約21億レコード(入力限界と同,理論値) (50万レコードまで動作確認済)

#### 状態保存

wncmr.cfgに解答・点数・連鎖データなどを9set分保存  
解答集入出力機能

**商品名および社名は各社の登録商標または商標です**

## 約束

---

### ■約束

著作権およびその他の権利は wnc / t.w. にありますが、配布プログラム及び説明書を一切変更しないことを条件として自由に利用および配布・複製する事を認めます。このソフトウェアの販売や、プログラムを改造したものを複製したり譲渡することはおやめください。

※ご注意：事情により約束の内容が変更になる場合があります。

プログラム自体の不具合がありましたら下記の所までおしらせください。不具合（バグ）については次回更新時可能であれば修正します（wncomrは開発を終了しているため致命的なバグがない限り修正版は出しません）。商用ソフトウェアではありませんのでいかなる損害や動作・修正を保証しません。すべて使用者の責任で使用してください。

連絡先

メール                      wncdevelop@yahoo.co.jp   （2014年4月から）

Web頁

wnc inu goya    <http://hp.vector.co.jp/authors/VA055892/>

このソフトウェア(wncmr)はwnc / t.w. がScanToolsから出力されたデータをもとに**勝手にソフトウェアを開発している**ので、wncomr について米SCANTRON社並びに販売代理店等へ問い合わせは行わないでください。

※ScanToolsの仕様変更により出力データに対応できない場合があります。

## おわりに

---

### ■おわりに

#### **WNCOMR v0.00.02hまでは**

Borland C++Builder Standard キャンペーン版(Borland<sup>\*1</sup>)で開発しています.

#### **WNCOMR v0.00.02i (2000/11)からv0.00.05までは**

Borland C++Builder3 Professional(Borland)で開発しています

#### **WNCOMR v1.00.00 (2011/6)からは**

Borland TurboC++ 2006 Explorer(CodeGear)で開発しています

#### **WOMRCON (Win32) は**

Borland C++Builder3 Professional(Borland)で開発しています

#### **WNCOMR. CHM v1.00.00-01 (2011/6)からは**

HelpMaker 7.4.4.0(Vizacc)(フリーソフト)を使用して製作しました

また、OMRと説明書やhtmlhelp製作のためにsdgの機材とライセンスしてあるソフトウェアを使用させていただきました。

ありがとうございます。

※2011年の内容をそのまま使用しているため2016年現在において不適切部分を見落としている場合があります

---

\*1 旧社名Inprise(1998-2000)



## 版情報

### ■版情報

#### wncomr. EXE履歴

<1999.02.??> v0.00.00 製作開始  
 <1999.11.18> v0.00.00 完成(開発期間約半年)  
 <1999.11.28> v0.00.00 機能強化(連鎖・内部設定)  
 <1999.11.29> v0.00.00 機能強化(画面採点)  
 <2000.02.21> v0.00.01 TPLおよび解答集機能追加  
 <2000.04.09p> v0.00.02a 100問まで対応  
 <2000.04.16p> v0.00.02c ボタンの絵変更, extern訂正  
 <2000.04.23p> v0.00.02e 最終レコード移動途中停止追加  
 <2000.11.04p> v0.00.02i 日本語データ時誤認識防止(将来拡張用)  
 <2002.05.18p> v0.00.03 wncomr. TPLを自動読込  
 <2006.02.18p> v0.00.04 1問の配点を99点に拡大  
 <2006.02.27p> v0.00.04b 出力アルゴリズム高速化  
 <2006.03.12p> v0.00.04c ロゴの変更, カンマ不足補充  
 <2006.08.21a> v0.00.05 連鎖検査・特殊採点・解答複製機能追加  
 <2006.11.05p> v0.00.052 表示関連のバグを修正(処理完了時の表示を訂正)  
 <2011.06.26p> v1.00.00 TC++2006に移行, 出力機能変更

#### wncomr. HLP履歴

<1999.11.21a> v0.00.00-00 完成(v0.00.00同時配布用)  
 <1999.11.29p> v0.00.00-01 機能強化部分追加  
 <2000.01.12p> v0.00.00-02 訂正  
 <2000.02.22p> v0.00.01-00 新機能解説追加  
 <2000.04.09p> v0.00.02-00 機能変更部分改訂  
 <2000.04.16p> v0.00.02-01 絵変更部分改訂  
 <2000.04.23p> v0.00.02-02 画面確認部分説明追加  
 <2000.11.04p> v0.00.02-03 履歴類変更  
 <2002.05.30p> v0.00.03-00 一部改訂  
 <2006.03.12p> v0.00.04-00 履歴及び一部改訂  
 <2006.11.09p> v0.00.05-00 機能変更部分改訂

#### wncomr. chm履歴

<2009.03.24p> v0.00.05-01 htmlhelp版  
 <2011.06.29p> v1.00.00-01 再構築  
 <2016.07.24p> v1.00.00-02 更新

#### wtpledit. EXE履歴

<2000.02.21p> v0.00.00 完成(v0.00.01同時配布用)  
 <2000.04.09p> v0.00.01 機能変更、参照機能追加  
 <2000.07.18> v0.00.01b タイトル板作成  
 <2000.09.10> v0.00.01c crc乱数  
 <2012.01.23> v0.00.02 画面リサイズ一部対応, TC++2006(exp), アイコン変更  
 <2016.07.24p> v1.00.00 画面リサイズ関連変更

#### womrcon. EXE履歴

<2007.02.21p> v0.00.00 tdat\_rnd改良版  
 <2007.06.12a> v0.00.01 バグ修正  
 <2007.07.24p> v0.00.02 オプション指定のみで処理を開始してしまうバグ封じ  
 <2007.09.10p> v0.00.03 cfg読込ファイル名調整

#### wncomr 説明書印刷版

<1999.11.30a> v0.00.00-01 hlp版番号と同等内容  
 <2000.02.23p> v0.00.01-00 hlp版番号と同等内容  
 <2000.04.18a> v0.00.02-01 hlp版番号と同等内容  
 <2000.04.23p> v0.00.02-02 hlp版番号と同等内容  
 <2002.04.11p> v0.00.02-03 Me/2000動作確認済による訂正  
 <2002.05.30p> v0.00.03-00 hlp版番号と同等内容  
 <2006.11.22p> v0.00.05-00 hlp版番号と同等内容  
 <2011.07.01p> v1.00.00-01 chm版番号と同等内容  
 <2016.07.24p> v1.00.00-02 chm版番号と同等内容

---

## ■開発元

wnc develop

このソフトウェアは日本国内向けに作成されており日本語環境で利用できるソフトウェアです。

MADE IN JAPAN.

---

wncomr説明書

初版                      平成 1 2 年 4 月 1 8 日

改訂                      平成 2 8 年 7 月 2 4 日

Copyright©1999-2016 wnc / t.w.  
All rights reserved.

WindowsはMicrosoft社の登録商標または商標です。  
C++BuilderおよびTurbo C++はEmbarcadero Technologies社の登録商標または商標です。  
NCS・OpScanおよびScanToolsは米SCANTRONの登録商標または商標です。  
製品名および会社名は各社の登録商標または商標です。

注)Borlandの開発ツール部門CodeGearはEmbarcadero Technologies社に所属しているためツール名等が旧社名のままになっています。また、OpScanとScanToolsの開発元であるSCANTRONもここ数年で何度か会社の名前が変わっています(2000年頃はNCSという社名だった)。